

<教育利用> ②③ 和歌の理解を深める画像生成AIの活用

3年 国語科 和歌の心情・情景理解

和歌に込められた心情や情景を理解するため、「デジタルホワイトボードソフト」を活用し、分析した内容を共有した。自分で分析した内容を画像生成AIを活用し表現をする。友だちと画像を比較することで、自分の感じた和歌を表現するためにはどのような言葉が足りなかったのか等、改善を図ることができ、和歌への理解、関心を高めることができた。

Figjamを活用し、和歌の分析結果をまとめる。

文章にまとめる際に、この表をスクリーンショットし、ChatGPTに読み込ませ、参考にする生徒もいた。

情景	心情	表現技法
<p>季節は晴れている夏の日 道のほとりに清らかな小川が流れている 柳が涼しい木陰を作っているところに 僅かな間合もうと立ち止まつたのだが... →長居してしまった</p> <p>作者: 西行 元永元年 鳥羽上皇に北面の武士としてつかえ、 武芸、和歌にも優れていた 柳の木陰に涼しさを求める爽やかな夏の歌</p>	<p>夏の中、木陰と小川を見つけ嬉しく思う気持ち、ずっとそこにいたい気持ち</p> <p>三句目「柳かけ」で一旦意味が切れるから 三句切れ。 こそ～つれで係り結びになっている</p>	
<p>その他</p>		 <p>比較すると人物の表現が自分の思いと異なることが分かる。 言葉の選択が重要である。</p>

第3時: 「分析シート」を活用して、「古今和歌集」「新古今和歌集」の和歌に歌われた心情や情景などについて調べ、まとめる。

第4時: 分析シートにまとめた心情や情景を、文章や画像で表現する。

- 集めた情報を整理し、文章にまとめる力
- 様々な表現（言葉）から、より適切なものを選択する力

第5時: 和歌に描かれた情景についてまとめた文章や作成した画像を交流し合い、和歌への理解を深める。



Canvaを活用し、和歌の情景をよりよく表現する画像を生成を行う。